

- 14 : 15 委員長あいさつ、障害がある方との意見交換会閉会
- 15 : 00 子育て中の方との意見交換会開会、委員長あいさつ、出席者紹介
- 15 : 05 概要説明・19階の現場を見ていただきながら、子育て中の方が傍聴に来た際の必要な対応等について、及び区議会の広報について、2グループに分かれて意見交換を行う。
- 15 : 30 グループごとにどのような意見があったかを発表した後、全体を通しての意見交換を行う。
- 15 : 45 委員長あいさつ、子育て中の方との意見交換会閉会

～ 意見交換会における主なご意見は次のとおり ～

意見交換会における主なご意見

<障害がある方との意見交換会>

◎本会議場について

- ・ 本会議場が暗く、パキッとした明るさの方が見やすい。
- ・ 本会議場の絨毯の素材が柔らかく、手動の車椅子だと移動がかなり大変。
- ・ 段差が気になるので、スロープがあれば良い。また、段差の数が多い。
- ・ 通路の幅が狭いので、車椅子の場合、通行が大変。
- ・ 速記席をなぜなくさないのか。
- ・ 都議会を見ているとスロープがあつて、移動するときの配慮がされている。区議会の現状を見ると、手動の車椅子であれば前輪を持ち上げるなどをすれば移動可能であっても、電動の場合は厳しい状況であるので、軽い傾斜を付けて登れるような対応が必要。入り口部分に関しては、手動でも電動でも大丈夫だと思う。
- ・ 車椅子の議員がいた場合、現状の椅子は業者に頼めば外せるが、車椅子だと狭くて回転しづらい面がある。議員席の引き出しが邪魔になってしまう部分もあり、メモをしたくても机に届かない面もある。以前、車椅子対応の議員もいた際にスロープ等で対応したが、当時は手動の車椅子であり、電動になると規格が大きくなるので、そのままでは対応できない。
- ・ 既存の椅子をどかしたとしても、幅が狭く、車椅子が少ししか前後できない。
- ・ 議員は4年ごとに改選があり、障害者が議員になったときに対応が必要。元々対応できるように整備されていけばよいが、障害は100人いたら全部違う。
- ・ 事前の改修は大変なので、議員になったときに即対応してくれるという姿勢がわかれば、立候補のしにくさにはつながらない。
- ・ 本会議場で表決態度の表明について、起立表決を行っているが、頻繁に立つことが難しい部分もあるので、電子表決や挙手による表決も検討してはどうか。

◎本会議場傍聴席について

- ・ 車椅子の方については、モニター等で状況が分かるような対応ができると聞き取りの面でも視認性の面でも良い。
- ・ 車椅子の方の傍聴スペースが介添え者も含めてしまうと1組くらいしか入れないのではないか。
- ・ 階段が急で、障害者や高齢者は一番上の方にしか座れない。
- ・ 以前は気にならなかったが、階段の1段が高い。
- ・ 1列だけでも階段を使用せずに座れる座席があると良い。
- ・ スロープで一番下まで行けると良い。
- ・ 字幕モニターの文字が小さく、ふりがなもごちゃごちゃしている。障害者や高齢者は一番下の席まで行けないので、必然的にモニターから遠くなってしまい、全然読めない。
- ・ 字幕表示については、文字が小さく読みづらい。また、文字の出る速度が速すぎて、

処理が追い付かない。タブレット端末を貸与して目の前で見られるようにしてみてもどうか。

- ・ 傍聴席の車椅子専用の場所について、目の前の壁が高くて全体が見にくい部分があるので、目の前の壁をガラスにすれば見やすいのではないか。
- ・ 傍聴に向かう際のエレベーターについて、車椅子を利用する際にバック走行で出なくてはいけない場面があるが、ミラーがあると周りの様子が分かるので、対応しやすくなる。また、エレベーター内の各階の案内表示板の文字が小さく見えづらい。
- ・ 車椅子の方の介助者用に小さい丸椅子でもいいので用意されていれば助かる。

◎トイレについて

- ・ 19階にトイレがないなど、いろいろと不便。
- ・ 障害者の方はトイレに行く際、区役所の1階を利用している。1階はベッドもあるので利用しやすいが、1階のトイレしか使えず、使用している際にノックなどをされて焦ってしまうので、もう少しトイレの数があると良い。
- ・ 18階のトイレはユニバーサルシートがあれば利用がしやすいと思うが、車椅子で入るとトイレ内で回転ができない。
- ・ 広いトイレであれば、洗面のところに手すりがあるのは便利だが、狭いトイレなのに手すりが付いているので、手すりが邪魔で車椅子が進めない状況になっている。
- ・ 便座のところにある手すりが旧式で跳ね上げが重くてできない。最新のものは簡易に上げることができるので、取り入れると良い。環境を整えば一人でトイレをすることができるが、現状では難しく、介添えが必要になってしまう。洗面を極力小さくして、赤ちゃん用の椅子を無くすことも一つの手だと思う。

◎その他（インターネット中継等）について

- ・ 聞きたいところが何時からか分からない。そもそも午前中にやってほしい。
- ・ 13時会議開始だと、15時過ぎくらいに子どもの迎えがあるため、見られない。もう少し早いほうがよい。聞きたいところが聞けない。
- ・ 議会の映像中継は、自分に関連するものでないと見ない。
- ・ インターネット中継を見たことがあるが、議員はずっと下を向いているし、カメラワークもないので、映像として見ていられない。
- ・ 障害者にとって、会議のスピードが速すぎて追いつかないので、ゆっくり聞くことができる環境がほしい。（インターネット中継などの再生速度の調整など）
- ・ 傍聴するに当たり、ゆっくり聞けるかどうか重要であり、ネット、現地、個室かどうかということではない。

<子育て中の方との意見交換会>

◎本会議場について

- ・ 本会議場が暗い。

◎傍聴席について

- ・ トイレが18階にしかなく、着替えをする際でも階を降りなくてはならず不便
- ・ 子ども連れで来た際に、手すりの間に落ちてしまいそうで危ない。家庭のベランダにあるような柵があれば安心なのではないか。
- ・ 階段の段差が大きく、小さい子どもには危ない。
- ・ 子どもが泣き出してしまった場合、どこまで許容されるのかがわからない。あまりに騒がしくしてしまうと退室しなくてはならないと感じるため、その点についての配慮が必要ではないか。
- ・ 議会の内容が子どもにとっては退屈なことが多いので、連れていきづらい。
- ・ 映画館とかでは部屋が区切られており、授乳の場合や子どもが騒いでも大丈夫なような対応がされているので、そういった対応があると良い。オープンスペースだけでは厳しい面がある。子どもと一緒に見ることができるといい場所が欲しい。
- ・ 子連れの場合、別の部屋で映像が見られると良いと思うが、そうであれば結局映像を見ることになるので、傍聴しに来る理由が分からない。インターネット中継が良い。今あるインターネット中継などを見てもらうための仕掛けを考えるほうがいいのではないか。
- ・ 興味がないと、傍聴にもインターネット中継の視聴にもいかない。「子育て」のこれをやっているというようなことがわからないと難しい。
- ・ 意見をその場で言えるわけではないので、傍聴やリアルタイムで視聴するメリットがあまり感じられない。
- ・ 委員会の審議について、請願・陳情の審査を聞きたくても先に議案の審査が行われるため、いつ自分の興味のある請願・陳情になるのかが分からない。
- ・ 子どもが騒いでもかまわない「子どもデー」があると良い。
- ・ 本会議や委員会の後にそのまま意見交換会をしてもらえると、産休・育休中でも社会とのつながりを感じられていいのではないか。
- ・ 子供の年齢によっても対応が異なると思うが、本会議や委員会の開会時間が平日の日中なので、傍聴は難しい。そもそも傍聴に来てほしいのか、来させるのかとは思っている。傍聴に来なくても参加できるような仕組みが必要なのではないか。
- ・ そもそも子育て世帯が傍聴に来なくてはいけないのか。傍聴に来なくてもいいような仕組みを作るべきではないか。来ても意見等が言えずに聞いただけなのであれば来る意味をあまり感じない。そういう意味でデジタルを有効的に活用していけばいいのではないか。

◎議会だよりについて

- ・ 存在は知ってはいるが、あまり読まない。
- ・ 自分が住んでいるまちの話なので、知りたいと思うし、勉強にはなると思うが、なか

なか時間も取れないし、読もうという気にならない。

- ・ しっかり読まないとなん内容の発言だったかが分からないので、見出しというか目次がもっとわかりやすいと良い。
- ・ 記事が議員ごとにまとまっていたりするので、「子育て」「防災」のようなジャンル別になっていると見やすい。
- ・ 見ても何が書いてあるのかが分からない。字ばかりで子育てのことが書いてあっても埋もれてしまっていて、探す気になれない。
- ・ 自分の知っておきたい情報がどこにあるのか分かりづらい。
- ・ どんな内容の発言があったのかが、パッと見てわかる工夫が必要。
- ・ 区民の目に入る機会を増やすため、ページ数を減らして月1回くらいのペースで発行すれば良いのではないか。
- ・ 1面なのに日記みたいなことが書いてあって興味がわからない。
- ・ 代表質問と一般質問の違いが分からないため、記事が大きいと今回の議会の大きな話題であるようにしか見えないし、本会議での質問事項がどうだったかという点は区民目線で言えばそこまで重要ではなく、自分にどれだけ関係しているかだと思う。
- ・ 代表質問と一般質問のところにQRコードなどがあって、質問をしている動画のページにいけると良い。
- ・ 文字が多くて読んでいても面白くない。詳細な会議の記録が知りたいなら、ホームページなりを見て自分で調べられるので、広報誌は区民が興味を持てる内容にしてほしい。
- ・ 今日の意見交換会などを大きく記事にすれば、もっと身近に感じられるのではないか。
- ・ 情報の取り方として、インターネットやSNSを活用しているので、そこでの発信の仕方が大事になるのではないか。
- ・ 部数を減らしてもいいから、動画コンテンツを増やすとかでもいいような気がする。
- ・ 音声で区議会だよりを聴けるようなラジオ的なことがあれば、何かをやりながら聴くことができる。区議会だよりを手にとって読むみたいな時間はなかなか取りづらい。そうすれば、今までとは違う世代が興味を持ってくれるのではないか。
- ・ 議会だよりの子ども版のようなものを作って、子どもへのアプローチをしてもいいのではないか。それを小・中学校で教材として使ってもらうこと等ができれば、家に持って帰って親にも見てもらうようなことにもつながるのではないか。
- ・ 子どもに区議会だよりを作ってもらうような取組があってもいいのではないか。

◎映像配信について

- ・ インターネット中継をしていることは知ってはいるが、見るに至らない。開会時間も午後1時から午後5時までとなっていると、子どものお迎えや寝かしつけの時間でもあり、到底見ることができない。
- ・ 自分の時間を使ってでも見たいと思えるかどうかだと思う。
- ・ 録画配信もしているとのことなので、そうであれば、傍聴に来たり、リアルタイムで視聴する必要はないように感じる。

- ・ リアルタイムで見てもらうことにどこまでの価値があるのか。
- ・ 議会の中継を見れば自分にとって有益な情報が入ることが分かれば見ることにつながると思う。例えば「給食費無償化」についても、早めに知ることで準備の仕方が変わってくるので、知れるものなら早めに知りたいが、その議論がいつされているのかが分からない。
- ・ 興味がある人は傍聴もするしインターネット中継を視聴するのだろうが、そういった人の意見だけを掬っていいのかという気持ちもある。
- ・ 本会議や委員会の様子をただ流しているだけではなかなかすべてを見るのは厳しい。
- ・ YouTubeなどで自分の知りたい情報だけが切り抜かれているのであれば見てみたい。
- ・ 動画にタグとかが付いていて「子育て」「防災」みたいなものがあると良い。
- ・ 動画に、何分のところが「子育て」、何分のところが「防災」のようなことが書いてあると見る気になれる。

◎広報全般について

- ・ どの媒体から情報を吸い上げるのかだと思う。SNS、区議会ホームページ（インターネット中継）、区議会だよりをただ見てほしいというだけではあまり興味がわからないのではないか。自分の意見が反映されている感とか自分の意見が言えるといった参加している感がないと難しいのではないか。
- ・ 行政や議会の情報を知りたいときにどこを見ればいいのかが分からない。ここを見れば大体わかるようなコンテンツみたいなものがあればいいのではないか。
- ・ 子ども関係の情報は主にSNS（X）や区のサイトから取っていて、紙媒体からはあまり取らない。スマホとかでの検索が主になっている。墨田区のYouTubeを見たりしている。区の公式LINEには登録していないが、そもそも存在も知らなかった。メリットがあればやるかもしれない。ただし、あまり分散しすぎてしまうとわかりづらい。この媒体を見ればわかるといったふうにしてもらった方が良い。
- ・ 広報委員会に区民に入ってもらって区民の声を聴くといった試みもありではないか。
- ・ 百何十字くらいにコンパクトにまとめてあるか、短い動画でないと今の時代では読んだり見たりしてもらえないのではないか。生成AIなどを使ってみてもいいのではないか。